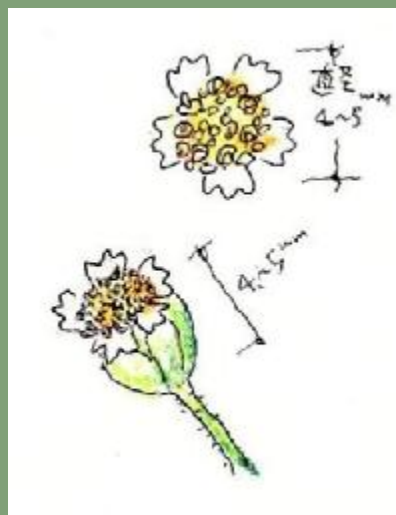


見沼田んぼ・野草スケッチ 「ハキダメギク」 掃溜菊

科名：キク科 コゴメギク属

花言葉： 不屈の精神、豊富



11.7.20 東浦和井沼

P.S. この植物は、夏から秋にかけて咲いています。この2月に取り上げたのは、いま私の机の脇の鉢に元気に咲いているのです。

ハキダメとは、けったいな名前ですが、植物の名前には、可哀そうな名前が付いています。道端のフェンスや立ち木に絡んでいるツル植物でヘクソカズラと言う名前が付けられています。このハキダメもそれに近いですが、名前を付けた人は、なんと縮物学者の牧野富太郎が掃き溜めで見つけたからだそうです。花言葉はだれが付けたのか？不屈の精神、豊富というのも頷けます。



冠毛

「ハキダメギク」	
原産地：	熱帯アメリカ原産 明治時代の初期に渡来
生育地：	全国に帰化植物として広がっている 一年生植物。
茎 丈：	分岐 20 - 60cm 程度 柔らかい草質 枝葉ともに白い毛が生える
根：	
葉：	対生し、卵形。縁は浅い鋸歯 2017. 1. 1
花期：	夏から秋の6 - 11月
花・花色：	頭花は直径 5mm 程度で5 枚前後の先端が3 中裂する短い白色の舌状花がある
種子：	果実は瘦果（そうか）で、黒く熟する
特徴：	冠毛で風に乗って種子が散布される
名前の由来：	牧野富太郎が世田谷の掃き溜めで発見したのでこの名前がついた。
記述は、ウィキペディアのサイトなどを参考にさせていただきました。 17. 2. 5	